

# EA760A-16 マルチファインダー 取扱説明書

Ver. 1.0

この度はお買い上げを頂きまして誠にありがとうございます。本製品は壁内の活線および木、金属を検知します。用途外の使用は事故や機器の破損につながる恐れがあります。取扱説明書は保管し、使用前に読み理解してから使用してください。

<b>⚠警告</b>	指示に従わない場合、死亡や重傷を負う恐れがあります。
<b>🚫禁止</b>	してはいけない内容です。
<b>❗注意</b>	実行しなければならない内容です。

⚠警告	
<b>❗注意</b> 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様の範囲内で使用すること。</li> <li>・測定ごとに測定レンジ、接続を確認すること。</li> <li>・測定中に他のレンジに切り替えないこと。</li> <li>・一人で作業をしないこと、電気機器・設備に詳しい、知識のある人に指導を受けること。</li> <li>・テスターを高温、多湿、振動にさらさないこと。</li> <li>・屋外での使用は気象条件(雨や湿気)に注意すること。</li> <li>・子どもの手の届かないところに保管すること。</li> <li>・必ず電池を取り外し、清潔で乾燥した場所に保管してください。</li> </ul>
<b>🚫禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファインダーを使用中に半径5m以内の場所で、電子送信機やモーターを使用しない。</li> <li>・ファインダーや手が水などで濡れた状態での使用はしない。</li> <li>・電池容量の少ない状態では使用しない。</li> <li>・電池交換以外の分解、改造はしない。</li> </ul>

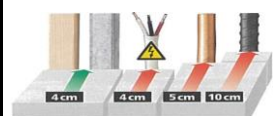
本製品は、EMC指令2014/30/EUに準拠しています。

## ◆機能

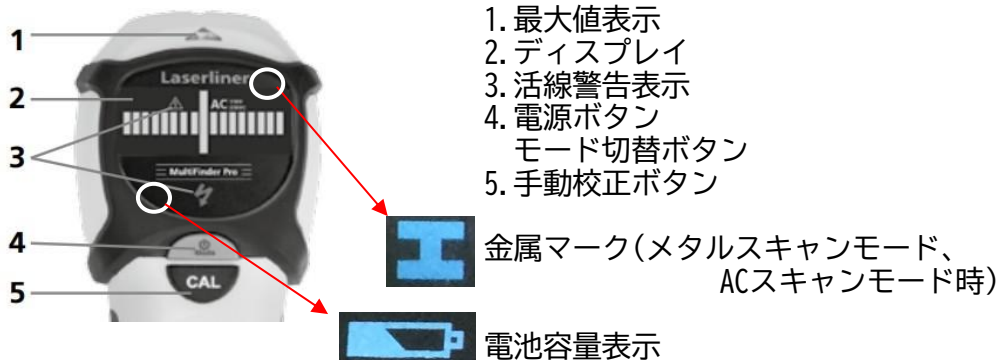
- ・木材、金属、活線の検知
- ・ボタン一つで測定モードの切替可能
- ・カラーバックライト表示と音で検知をお知らせ
- ・自動校正機能
- ・オートオフ機能

## ◆仕様

AC検知範囲	110～230V (50～60Hz)
検知能力 (深さ)	スタッドスキャン：40mm
	ACスキャン：40mm
	メタルスキャン：100mm (鉄)、50mm (非鉄金属)
使用温湿度範囲	0～40℃/80%以下(結露なきこと)
電源	9V電池×1個(付属)
サイズ	80×40×186mm
重量	230g



## ◆各部名称



## ◆オートオフ機能

電池の消耗を防ぐ為、オートオフ機能が付いています。  
最後の計測が終了して2分後に自動的に電源が切れます。

### 1 電池の取り付け

本体裏面にある電池カバーを取り、電池の極性を確認して入れてください。



### 2 操作方法

電源ON：電源ボタン（4）を押すと電源が入ります。

電源OFF：電源ボタン（4）を4秒間長押しすると電源が切れます。

### 3 シンボルマーク



赤に点灯＝活線警告



メタルスキャン/ACスキャンモード時  
緑に点灯：金属または活線が近くにある  
赤に点灯：金属または活線がある

スタッドスキャンモード時  
赤に点灯：検知物が近くにある  
緑に点灯：検知物がある



すべての測定モード時でも検知するものが近くにある場合に、  
左右のメモリが近づいていきます。



メタルスキャン/ACスキャンモード時  
赤：金属または活線がある

スタッドスキャンモード時  
緑：検知物がある

### 4 校正

自動校正…電源を入れた時、メタルスキャンモード/ACスキャンモード選択時に  
自動で実行されます。



自動校正プラス…検知物が感知した時、メタルスキャンモードでは追加で校正を行います。  
対象物の検知範囲をより狭めることができます。



手動校正…手動校正ボタン(5)を押すと、手動で校正を行います。  
再度測定を行うことで、対象をより正確に検知できます。  
空中で校正を行うと最大の感度となり、メタルスキャンモード及びACスキャンモー  
での測定に有効です。



注意

スタッドスキャンモードでの校正中と測定中(測定時はメタルスキャンモード、  
ACスキャンモードも含む)は壁面よりファインダーを離さないでください。  
(手にしっかりとファインダーを持ち、測定してください。)

## 5 測定モードの選択

モードボタン(4)を押して、測定モードの切替をします。

メタルスキャンモード	非金属下の金属を検知するモード
ACスキャンモード	非金属下の活線を検知するモード
スタッドスキャンモード	非金属の壁の下の梁と根太、金属を検知するモード

## 6 メタルスキャンモード

非金属(レンガ、コンクリート、モルタル、木材、石膏ファイバーボード、ガスコンクリート、セラミック、及び鋳物建材)中の金属を検出します。

メタルスキャンモードを選択します。

「CAL」から「CAL OK」に表示が変更後測定を開始してください。

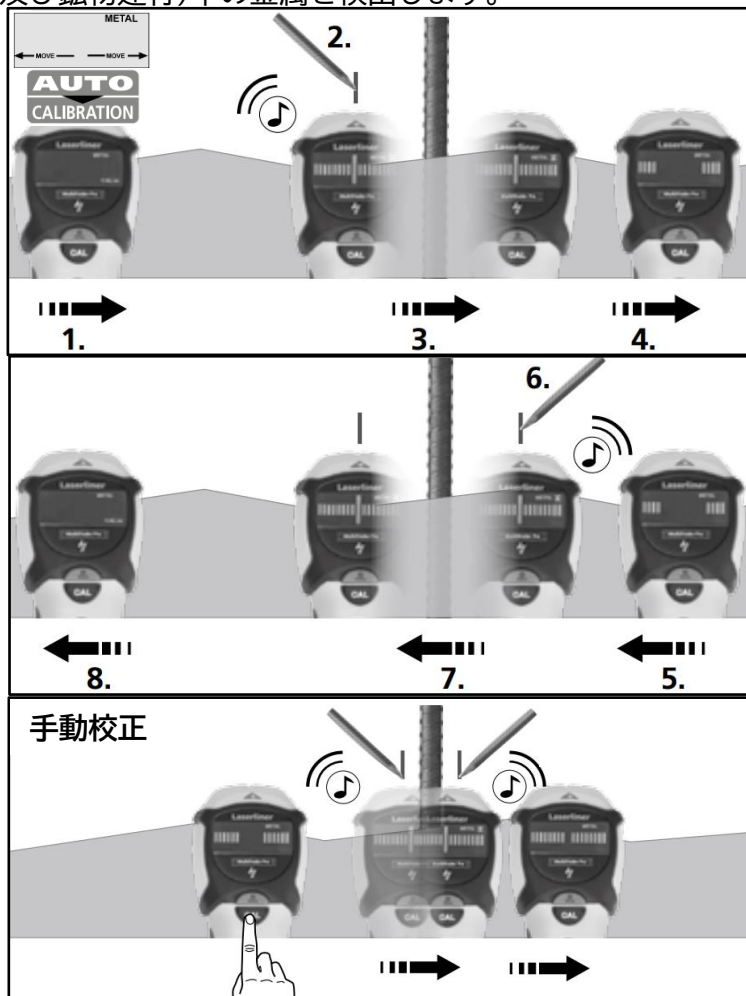
表面を左から右へとゆっくりと移動します。

ピーツと音がし、最大値表示を示した場所にマークをします。

反対側からも同様に行います。

「自動校正プラス」機能により検知した範囲を数回通過させることで、範囲を狭めることができます。

先の測定で検知した場所の近くで手動校正を行うと、範囲をより狭めることができます。



測定の  
ヒント

- ・2つのマークの中間が、検知対象のセンターです。  
(測定感度が高い為、実際の検知物よりも広いマークになります。)
- ・測定を開始する場所は、金属がない場所から始めてください。  
金属がある場所に置くと「ERROR」と表示され正しく測定されません。  
少し離れた場所に移動し再度測定を行ってください。
- ・検知対象が複雑な形状の場合は、水平方向と垂直方向の両方で測定してください。
- ・金属箔を含んだ床材や壁内の暖房のパイプを検知する場合があります。  
予め埋め込まれてる金属(パイプ等)の場所がわかっている場所で、  
この測定モードをテストしてください。
- ・検知対象が壁の奥深くにある場合、測定できない場合があります。

## 7 ACスキャンモード

しっくい、木製パネル、非金属パネルの直下にある活線の範囲を狭く絞るためのモード  
(乾式壁内に金属のスタッドがある場合は活線を検知することができません。)

ACスキャンモードを選択します。

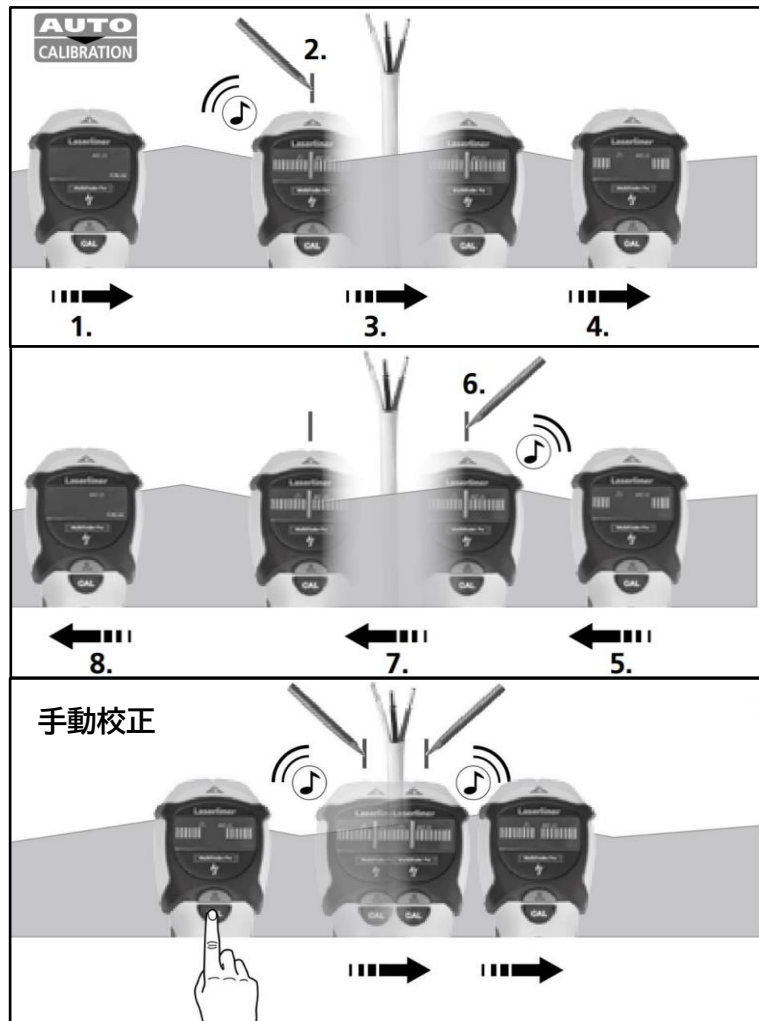
↓  
「CAL」から「CAL OK」に表示が  
変更後測定を開始してください。

↓  
表面を左から右へとゆっくりと  
移動します。

↓  
ピーツと音がし、最大値表示を  
示した場所にマークをします。

↓  
反対側からも同様に行います。

↓  
先の測定で検知した場所の近くで  
手動校正を行うと、範囲をより狭  
めることができます。



### 測定の ヒント

- ・手動校正は、先の測定で検知した場所の近くで行います。必要に応じて繰り返し行います。
- ・静電気のため、電線の実際の位置の横で検知される場合があります。その場合、空いている手を壁に当てて静電気を除去してください。
- ・摩擦により、検知に影響が発生する場合があります。ファインダーはゆっくりと動かしてください。
- ・電線があると思われる場所で検知ができない場合、導体が覆われていることが原因の可能性があります。範囲を狭めるにはメタルスキャンモードにしてください。
- ・壁の中に金属の梁があると、検知に干渉する場合があります。この場合、電線を検知するにはメタルスキャンモードに切替えます。
- ・最大感度にて測定を開始する場所は、活線がない場所に置き、測定します。



注意

深さが40mmを超える活線は検知されません。

**8** スタッドスキャンモード  
壁内(例：乾式壁、石膏ファイバーボード、木製パネル、その他の非金属)の梁と根太、金属を検知します。

スタッドスキャンモードを選択します。

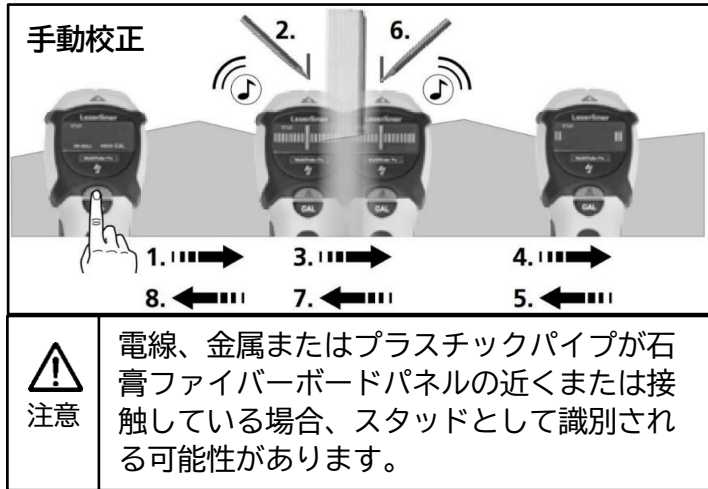
測定する壁面に接触させ、手動校正ボタン(5)を押します。

「CAL」から「CAL OK」に表示が変更後測定を開始してください。

表面を左から右へとゆっくりと移動します。

ピーツと音がし、最大値表示を示した場所にマークをします。

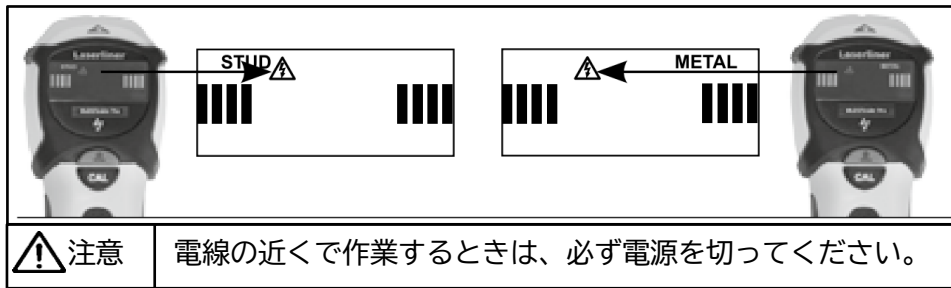
反対側からも同様に行います。



スタッド…ここでは主に梁や間柱の意

<p>測定のヒント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのマークの間が、検知対象のセンターです。</li> <li>・測定を開始する場所は、スタッドがない場所から始めてください。スタッドがある場所に置くと「ERROR」と表示され正しく測定されません。少し離れた場所に移動し、再度測定をしてください。</li> <li>・干渉を避けるため、その他の検知対象や空いている手を15cm以上離してください。</li> <li>・ドア、窓、コーナー周りに取り付けられているダブルスタッドとヘッダーの外側のみ検知します。</li> <li>・スタッドを検知後、他のスタッドが等距離(通常は30, 40, 60cm間隔)で存在するかを確認します。真上や真下も確認することで、よりスタッドであることを確認できます。</li> <li>・テクスチャード天井は保護するため、段ボールで覆ってください。</li> <li>・検知対象が壁の奥深くにある場合、測定できない場合があります。</li> </ul>
<p>注意</p>	<p>下記の場合では、木製の間柱や根太を検知できない場合があります。セラミック床タイル、パッド入りの裏地付フィットカーペット、金属繊維または金属箔の壁紙、塗りたての湿った壁(1週間以上乾燥させる必要があります。)</p> <p>この様な場合は、スタッドが配置されている場所に垂直に並んでいる乾式壁に釘やねじを置き、メタルスキャンモードを使用して範囲を狭めることができます。</p>

- 9** 電流監視機能(スタッドスキャンモード/メタルスキャンモード)  
電界を検出すると、保護されていない電線の電流を継続的に表示します。



**メンテナンス**  
各部を湿らせた布で拭いてください。(溶剤等は使用しないでください。)

株式会社エスコ  
〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀3-8-14  
TEL (06) 6532-6226 FAX (06) 6541-0929

21. May.